

まつげエクステに親しまれる方が増えれば増えるほど、肌刺激に関するご心配がより顕著となるでしょう。

パッチテストの実施は施術可否判断のためのカウンセリングと共に必要不可欠なサロンワークとして定着してゆく傾向にあります。

現在、医療目的ではない簡易的なパッチテストはサロンでもすでに広く行われておりますが、使用するツールや方法の選択についての迷いが解消されないまま実施されているケースがほとんどです。陽性反応が出た場合の顧客へのダメージが軽減される二の腕部位での行使に適い、必要部材がユニットとして揃いに用意されているため統一感を持った簡便な試験が可能な「まつげエクステ専用パッチテストユニット」が活用されることにより、サロンにおけるパッチテストへの取り組みがスムーズに進展することが期待されます。

1 パッチテストを実施できない方の条件

以下の①～⑫に一つでも該当する場合は、パッチテストの実施はお勧めできません。

- ① アトピー性皮膚炎や湿疹等の皮膚疾患を有する者
- ② パッチテストを行う部位(二の腕)に、試験評価に影響する皮膚異常が認められる者
- ③ 薬物、金属のアレルギーの既往のある者
- ④ 発疹や蕁麻疹等のアレルギーを起こしやすい体質の者
- ⑤ 疾病の治療や予防等のために医療機関等で処置(ホルモン補充療法、薬物療法、運動療法、食事療法、その他)を受けている者、あるいは治療が必要な状態と判断される者
- ⑥ 糖代謝、脂質代謝、肝機能、腎機能、心臓、循環器、呼吸器、内分泌系、神経系の重篤な疾患あるいは精神疾患の既往歴を有する者
- ⑦ アルコールおよび薬物依存の既往歴を有する者
- ⑧ 現在、妊娠・授乳中の者、近いうちに妊娠を希望する者
- ⑨ 試験開始前 2 週間以内に試験評価に影響する可能性のある薬剤(ステロイド外用剤、湿布など)を使用した者
- ⑩ 試験開始前 4 か月間以内に他のパッチテストを実施した者
- ⑪ 試験開始時に他のヒト試験(化粧品、食品、医薬品、医薬部外品、医療機器等を用いたヒトを対象とする試験すべて)に参加している者、あるいは本試験の実施予定期間中に他のヒト試験を実施する予定がある者
- ⑫ その他、試験担当者が試験実施に不適当と判断する者

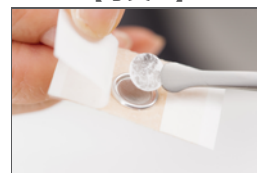
※設定根拠：上記①～⑧は被験者保護のため、⑨～⑪は正確な判定のため、試験実施に不適当と考えられます。

2 パッチテストの方法

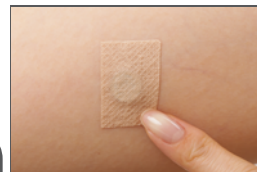
- ① 専用ろ紙にグルーを微量塗布し薄く延ばします。【写真 1】
- ② 2 時間以上時間を置き、硬化させます。(手で触って完全に硬化していることを確かめます) 【写真 2】
※硬化していない状態で貼付けると、皮膚に白いポリマーが付着することがあります。
- ③ パッチテスト専用のアルミチャンパーユニット「5 分の 1 幅に裁断したシールシート」(以下、ユニット)上に、グルーを塗布して硬化させたろ紙をセットし、上腕部(二の腕)の内側に貼付けます。【写真 3】
ユニットを貼付する場所は、湿疹、肌荒れ、吹き出物、発赤等が出ている箇所を避けて、健康な肌としてください。
- ④ 24 時間後(翌日同時刻)にユニットを除去し、除去の約 1 時間後に、グルーが接触していた部分の皮膚の状態を確認します。
※ユニットを除去する際に、シールをはがすことによる刺激で一時的に皮膚が赤くなる場合がありますので、除去から 1 時間程度時間を置いてから、グルー接触部の状態を確認してください。
※グルー接触部位が皮膚の赤くなったり腫れたりする等の異常がなければ、グルーに対するかぶれの可能性は低いと考えられます。
- ⑤ 異常がなければまつげエクステを少量装着することから始めてみましょう。



【写真 1】



【写真 2】



【写真 3】

※24 時間経過していない時でも「腫れ、かゆみ、水泡、刺激」などの異常が見られた場合はすぐにテストを中止し、絶対に施術しないでください。
※環境(花粉の季節等)や健康状態等によって皮膚の反応は大きく左右されます。テストして問題がなくても必ずしも皮膚がかぶれないということではありません。
※まつげエクステは毛に接着する繊維やグルーによっても、稀にアレルギーなどでまぶたが腫れたりする可能性があります。初めての方やアレルギーの不安がある方に装着する場合は、片目 2～3 本程度を目安としましょう。大量にまつげエクステを装着しないようにしましょう。

※ご注意ください

このパッチテストは株式会社松風と第三者検査機関により開発された「まつげエクステ用グルーの皮膚一時刺激反応の有無を簡易的に試験する方法」です。このパッチテスト結果が陰性であった場合でも、すべての方がかぶれないという保証ができるものではありませんので、予めご了承ください。
※このパッチテストによって皮膚に異常が生じた場合は、速やかに試験を中止し専門医の診療を受けてください。当試験の実施により万一、皮膚に異常が生じた場合でも、当社が責任を負うものではありません。